

## 【平成 30 年 6 月】

### 地域を支える仕組みづくり

#### 三本木・松山・鹿島台合同の見守りフォローアップ研修会で大崎市の取り組みについて紹介しました

平成 30 年 6 月 21 日（木曜日）午前 10 時 30 分から大崎市三本木総合支所ふれあいホールにて、大崎市社会福祉協議会三本木支所・松山支所・鹿島台支所の合同で「見守りフォローアップ研修会」が開催され、大崎市民生部社会福祉課地域包括ケア推進室の職員が「地域包括ケアシステムってなに？」というテーマで話題提供しました。

当日は、行政区長、民生委員、地域福祉推進委員会及び婦人会等の方々が約 80 人参加して、グループで「日頃さりげなく行われている見守りや支え合い」について話し合いました。グループからは「隣のカーテンの開閉を確認している」、「電気の消灯が見ている」という意見や「飲み屋で最近見かけなくなった。これも見守り？」等、多くの意見が出されました。



#### 田尻地域の社会福祉協力員の方々に地域包括ケアシステムについて紹介しました

平成 30 年 6 月 21 日（木曜日）午前 10 時 30 分から大崎市田尻福祉センター「虹の郷」にて大崎市社会福祉協議会田尻支所主催で「平成 30 年度ボランティア養成研修会」が開催され、大崎市民生部社会福祉課地域包括ケア推進室の職員が「いつまでもいきいきと住み慣れた地域で暮らすために」というテーマで話題提供しました

当日は 18 人の社会福祉協力員の方々が参加してクイズ等により大崎市の現状について知り、住み慣れた地域で暮らすためには、さりげなく行われている見守りや支え合いが大切であることを参加した方々と共有しました。



## 岩出山地域づくり委員会主催で親交会長を集めたワークショップが開催されました

平成 30 年 6 月 30 日（土曜日）午後 2 時から岩出山地域福祉センターにて、岩出山地域づくり委員会主催で開催された「おしゃべり広場 2018～親交会長さんと一緒に～」で、大崎市民生部社会福祉課地域包括ケア推進室の職員が地域包括ケアシステムについて話題提供をしてきました。

当日は 34 親交会から 20 名の親交会長が集まり、「親交会に若者に関わってもらうには？」等のお題に沿ってさまざまな意見が出されました。岩出山地域ではコーディネーターが軸となり課題解決に向けて一歩ずつ進んでいます。

### 岩出山地域では、コーディネーターが軸となり地域の意見をまとめています



## 高倉地区ではワークショップのまとめを地域に知らせる報告会を企画しました

平成 30 年 6 月 30 日（土曜日）午後 6 時 30 分から古川高倉地区公民館にて「第 4 回地域行動計画策定委員会」が開催されました。一区切りになる今回は、全 3 回のワークショップのまとめを、ワークショップに参加した方々に紹介するための報告会について代表メンバー 10 名が集まりアイディアを出し合いました。

「ワークショップの内容を実現させるためにまずは地域の合意を得なくてはならない。」「単発の報告会ではなく、継続的に実施報告もしなくてはならない。」等の意見が出されました。

### ワークショップの報告会を企画しました



## 医療と介護の連携

### 宮城県知事により組織されている協議会にて大崎市医師会と大崎市の取り組みを講演しました

平成 30 年 6 月 15 日（金曜日）午後 6 時 30 分から TKP ガーデンシティ仙台にて、「平成 30 年度宮城県地域包括ケア推進協議会総会（宮城県知事、宮城県市長会及び宮城県医師会等の各種 49 団体で組織）」が開催され、大崎市在宅医療・介護連携支援センター長 深沼 榮子 氏が大崎市医師会と大崎市の取り組みについて講演しました。

在宅医療・介護連携推進事業を進めていくうえでの方向性や事業内容について講演を行い、閉会後も出席者から質問される等、大崎市医師会と大崎市の取り組みについて興味を持っていただくことができました。



### 訪問看護ステーション管理者懇談会が開催されました

平成 30 年 6 月 19 日（火曜日）午後 6 時から大崎市医師会にて「大崎市内訪問看護ステーション管理者懇談会」が開催されました。今回は 12 名の訪問看護ステーションの管理者や行政関係者が集まり、今後の懇談会の在り方や看取りの現状と課題について話し合いました。

また、今回は大崎市民生部健康推進課の職員が大崎市の保健事業について紹介し、保健師と訪問看護ステーションとの連携について考える機会になりました。

